

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームそらまめ		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様やご利用者様、関係機関の方々にご協力いただきながら、訪問事業所としての役割を行えている。	保護者様の意向をアンケートなどの評価をいただきながら、関係機関の方々様とご利用者様の最善の支援につながるよう努めております。	訪問後のスタッフ間の共有やPDCAといった方法などをいかにしながら、よりよい支援へと繋がっていただけるよう努めてまいります。また関係機関の方々から、訪問の機会をいただいていることを大切にしながら、引き続き連携を行っていただけるようにする。
2	定期的な訪問支援により、保護者の安心、担任の安心が子どもの成長につながっている、といったご意見を頂きました。	ご利用者様の最善の支援に繋がっていただけるように、保護者様や関係機関の方々と情報を共有しながら行っている。	保護者様、関係機関の方々とこれからもご利用者様の最善の支援に繋がっていただけるように、研修会や学習会などといった機会を充実し、向上に努めてまいります。
3	関係機関の方々様などから、ご利用者様に対してできる範囲を考慮して助言して下さるので助かりますとご意見を頂きました。	当事業所だけの支援方法だけでなく、ご利用者様の最善の支援につながるような情報共有を、保護者様や関係機関の方々に「うまくいった方法」としてお話をいただいています。	保護者様、関係機関の方々とこれからもご利用者様の最善の支援に繋がっていただけるように、研修会や学習会などといった機会を充実し、向上に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	わかりやすく説明していただくのですが、集団でなかなかとりいれられないことがあるといったご意見を頂いております。	関係機関の方々の方針といった点で、ガイドラインや理念などといったところで、ご配慮が足りない点があったのではないかと。	引き続き、研修会や学習会といった学びの場を事業所として充実してまいります。
2	助言や説明を受ける機会がないことがあるのご意見をいただきました。	時間といった制限のなかで、調整がとれていなかったのかもしれない。	今後も訪問の日程調整をさせていただく際、適正なカンファレンスの時間をとれるよう、調整ができるよう努めてまいります。
3	本児の困りごとが、成長と共に新たな課題やこまりごととしてでてくる、といったご意見をいただきました。	発達とともに見られる姿として考えられる。	今後も保護者様やご利用者様、訪問といった形で関係機関の方々様と一緒に最善の支援に繋がるよう努めてまいります。